

# 観中人権だより

2024年度《No.4》

2024/7/18(木)

観音寺市立観音寺中学校

観音寺中学校では、毎学期に人権学習を実施しています。1年生はことば遣いを題材にした「しまったシール」、2年生は認知症の祖父との生活を綴った「じいちゃん。ありがとう」、3年生はいじめを題材とした「もう二度としない」を学習しました。授業後の感想を紹介したいと思います。



## 1年生「しまったシール」から

○すぐカッとなる性格を直したい。何か言われたからって、ぐいぐい相手をせめない。我慢する。  
○親しい仲でも言っではいけないことや、傷つくことはちゃんとあるから、言ってもいいことなのか悪いことなのかを判別つけられるように気をつけたいなと思いました。  
○簡単に言った言葉1つで、その人を不快な気持ちや、嫌な気持ちにさせるような言葉は簡単に言わず、ちゃんと相手の気持ちを考えて伝えることが大事だと思います。クラスの中でも悪口がない、良いクラスを作っていけるよう一人ひとりが意識して、みんなが楽しく過ごせるクラスにしたいです。  
○自分にできることは、「発言を考えること」です。つい悪い言葉がぼろっと出るけど、少し止まって本当に言っでいいのかな？と考えることが大切だと思います。自分で立ち止まることも大切だけど、立ち止まらせることも大切だと思います。  
○今まで私は自分が言いたいことや思ったことは何も考えずに言っでいたけど、今日の授業を受けて、これからは言う前に相手の立場になって「〇〇さんは言われてどう思うだろう」と考えるようにしたいと思いました。いろんな人と仲良くなれると嬉しいので、これから意識して生活していきたいです。

## 2年生「じいちゃん。ありがとう」から

○自分のばあちゃんやじいちゃんがいつか違う感じになってしまうのかと思うと悲しいけど、それでも今までしてくれたことを、その時返すことができるようにしたい。私のことを忘れたとしてもそれも含めて受け入れたい。今日の授業で、これからはお年寄りへの接し方、認識を見直したいと思った。  
○私も実際に体が不自由なおばあちゃんがいるから、介護をするときもあるけど、面倒くさいな、だるいなと思ったことがあるから、姉はとてもすごいなと思った。私もおばあちゃんに大事にされていたし恩返しをしないといけないと思った。介護されている本人も大変なことはたくさんあるので、そこで支えられるようにならないといけないと思った。  
○今日の授業を通して、自分を支えてくれた人に言葉で感謝が伝えられなくても、行動ができれば恩返しができるようになった。高齢者の方は自分なりに辛くないのに辛い病気になってしまい、人と関わるのが難しくなると分かった。その時に、軽い気持ちで暴言を言っでしまうと言われた方も辛いけど、後々自分が一番辛くなって後悔してしまっで。なので、これからは明るく接し恩返しができるように努力していきたい。今の時間をしっかりとおじいちゃんやおばあちゃんと楽しみたい。

## 3年生「もう二度としない」から

○悪口とかを言わない、いじめないことはあたりまえのことだから、自分が後悔しないようにすることを大切にしたい。そして、犯してしまっでいけないことは、同じことを繰り返さないためにも、絶対に忘れないし、忘れてはいけないと思いました。  
○真由美さんはされたからやり返そうみたいな考えじゃなくて、辛いけど冷静に考えて行動したのがすごいなと思いました。  
○簡単に口にした自分の言葉を相手がどう受け取るかは相手次第だと思います。悪口は言っで側も言われた側もずっと心に深い傷を負うことになりまっで。そんなことがない、平等な生活ができるように心がけることが大切だと思います。  
○いじめをした人もされた人も心の傷は絶対なおらないなと思いました。そして、やっでしまっで思っでたら傷が浅いうちに謝ることが大切だと思います。